

3学年だより

NO586

飛翔

令和3年2月5日



小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

決意！

新型コロナウイルスの感染拡大が問題となった昨年の4月から、私は教頭先生とトレーニングを始めました。80キロ近くに肥大した自分の体を、引き締めるために決意しました。前にも飛翔で書きましたが、みなさんの前で「バク転」をしようと決意したからです。頑張れば、「何でも形になる」ことをみんなに伝えたいと思ったからです。バク転をするためには、だらしなく、アドバレーンのように肥大したこの体をスリムにしなければなりません。シャトルランを続けて、体重は現在67kgになりました。順調に、卒業式の前日までには「バク転」を成功させる予定で、鴨宮の体操教室に通ったりして頑張っていました。9月に全員リレーで転んで右腕を骨折してから先々週までトレーニングができない状態でした。

もう、「バク転」は無理だな…あきらめようと心の中で弱虫な自分がつぶやきました。先日、3年1組の授業で、話がいつものようにそれた時に、石黒君が「先生、バク転は！」と私に投げかけてきました。「腕の骨が折れたから無理かな？でも命がけでやろうかな？」と答えると、「先生、無理しないでください。怪我をしたら大変ですよ。」と優しい言葉をかけてくれました。私は、生徒がバク転のことを覚えていたことにハッとしました。一回、やると決意したことを骨折を理由に簡単にやめようとした自分がすごく嫌になりました。

「万が一、先生がバク転を失敗して、頭から落ちて、意識がなくなり呼吸も停止したら、すぐに人工呼吸（マウス・トゥ・マウス）してくださいね」と谷平君にお願いすると、「先生、それは、僕にはできません。その役は、浅田先生にお願いします。」と答えたから、クラスがわーっと盛り上がりました。

その時に進路に向かって頑張っているみんなと同じように、最後まで諦めないでチャレンジしなければと再決意しました。弱気を捨てて！自信を持ってバク転の練習を再開します。みんなに公言したことは実行しないとね。